



**央戸 常寿 (SHISHIDO George)**

東京大学大学院法学政治学研究科 教授

東京大学法学部卒業。

---

東京大学大学院法学政治学研究科助手、東京都立大学法学部助教授、首都大学東京社会科学  
研究科法曹養成専攻助教授、一橋大学大学院法学研究科准教授、東京大学大学院法学政治学  
研究科准教授、UC Berkeley, School of Law Visiting Scholar を経て、2013 年より現職。

専門は憲法学、国法学、情報法。助手時代からの研究テーマである違憲審査制の歴史・理論  
に加えて、最近では表現の自由、通信の秘密、プライバシー・個人情報保護など情報法の実  
務についても研究を進めている。

著作として、『憲法裁判権の動態』(単著、弘文堂・2005 年)、『憲法 解釈論の応用と展開 (第  
2 版)』(単著、日本評論社・2014 年)、『ビックデータ時代のライフログ』(共著、東洋経済  
新報社・2012 年)、『憲法判例百選 I・II (第 6 版)』(編者、有斐閣・2013 年)、『法解釈入  
門』(共著、有斐閣・2013 年)、『論点日本国憲法 (第 2 版)』(共著、東京法令出版・2014 年)、  
『憲法学読本 (第 2 版)』(共著、有斐閣・2014 年)、『憲法演習ノート』(編者、弘文堂・2015  
年)、『18 歳から考える人権』(編者、法律文化社・2015 年)、『現代社会と憲法学』(編者、  
弘文堂・2015 年)、『憲法 I ー基本権』(共著、日本評論社・2016 年)、『憲法学のゆくえ』(編  
者、日本評論社・2016 年) 等がある。

日本公法学会、全国憲法研究会、憲法理論研究会、法と教育学会、情報法制学会に所属。  
現在、総務省「ICT サービス安心・安全研究会」構成員、「放送を巡る諸課題に関する検討  
会」構成員、「AI ネットワーク社会推進会議」構成員、日本民間放送連盟研究所客員研究員、  
朝日新聞社「編集権に関する審議会」委員、財団法人情報法制研究所理事など。